

佐原聖家族園新聞

R2.12.12第129号発行
発行責任者：飯島広司
編集：宮内・藤原
 實川・秋葉



堪能！秋の味覚



11月30日に「収穫祭」が開催されました。冬の寒さも感じられる外とは違い、ホールや食堂では、料理を待つ皆さんの熱気であふれていました。今年のメニューは「栗ご飯」「秋鮭のチャンチャン焼き」「天ぷら」「りんごと芋のモンブラン」「豚汁」の5品。おいしい料理に、皆さん舌鼓を打たれていました。

収穫祭の後半では、「〇×クイズ」を実施しました。佐原聖家族園に関する問題からディズニーに関する問題まで、苦戦するチームもありましたがチームで協力して答えてくれていました。

今年は装飾にも少し力を入れました。看板は利用者の方が細かくちぎった広告チラシを、職員と一緒に貼り付けたもので作成しました。プログラムが書かれた模造紙には、担当職員で折った栗やキノコも一緒に飾り、テーブルの上も装飾してみました。テーマは「もみじ」です。実際のもみじはもう散ってしまいましたが、テーブルの上はもみじが満開！ささやかな紅葉狩りを楽しんでいただけよう装飾してみました。サプライズの「大根抜き」は気づいていただけましたか？

皆さんの笑顔が加わり、収穫祭が完成しました。ご協力ありがとうございました。

収穫祭担当職員 佐々木直之



ナザレの家かとり



11月30日、佐原聖家族園の収穫祭に参加させていただきました。佐原聖家族園で収穫した様々な旬の野菜で、秋の味覚を堪能することができました。どれも美味しくいただきましたが、私は天ぷらが一番美味しかったです。

食後の〇×クイズの問題は盛り上がりますね～！今後も行事内でのアクセントとして是非続けていただきたいです。

ナザレの家かとり 佐藤 陽



☆歯の健康☆



12月4日にビーバー号に来て頂いて、2年ぶりに全員の歯科検診を行いました。歯の状態と磨き残しを歯医者さんに診てもらい、その結果を基に歯科衛生士さんから一人一人アドバイスを頂きました。磨き残しの場所や磨き方を学び、利用者一人一人に合った歯磨きのやり方を教わる事ができました。その後、職員の勉強会を行いお互いを磨きあうことで磨いてもらう感覚を味わう事ができました。

支援員 秋葉陽介



社会福祉法人 ロザリオの聖母会
さわら せい かぞくえん

佐原聖家族園

〒287-0027 千葉県香取市返田323-1
TEL 0478-50-7117
FAX 0478-50-7118

佐原聖家族園E-Mail : s-kazoku@rosario.jp
ロザリオE-Mail : honbu@rosario.jp
ロザリオHomePage : <http://www.rosario.jp>

編集後記

もうすぐ令和元年が終わります。平成から令和と変わり、皆さんはどんな一年でしたでしょうか？

来年は、東京オリンピックがあり、スポーツが好きな自分はテレビから応援をしたいと思っています！！

<秋葉>

響け!! 笑顔のハーモニー

～佐原グリーンハーモニー来園～

11月21日の午後は、利用者、職員がホールに集合し、グリーンハーモニーのみなさんによる、唄や、手話、手遊びで楽しみました。

始まると同時に前に出ていき、歌い始める方、音楽が流れると、自然に体が動くパフォーマー達、一足早く唄った「きよしこの夜」はゴスペルズのようにハモっていました。「線路は続くよ」はみんなで輪になり、ホールを回り、「幸せなら手をたたこう」では笑顔いっぱいになりました。「令和」という年号にあてはめたような、美しいハーモニーが響き渡り、佐原聖家族園は、楽しさと、暖かさに包まれていました。

主任 阿嶋さつき



職員リレートーク43 職員が自由に語る職員リレートーク。
令和元年の8回目は…河原明美支援員です。

佐原聖家族園で6年。障害者施設で働き始めて11年となりました河原です。最初のきっかけは、息子を鍵っ子にしたいと言う理由で3時までの仕事を探していたら、前の職場がヒットしたという安易な考えでした。が、仕事をしてみると毎日が楽しくあつという間の11年でした。子育ての経験を活かしながら良い支援が出来るように努力していきたいと思ひます。プライベートでは、学生時代から続けているバレーボールを楽しんでいます。時間がある時にはウォーキングをしたり体力の現状維持の為に体を動かしています。体力の衰えを感じながらも、若い職員が多い職場なので良い刺激・パワーをもらいながらこれからも頑張っていきたいと思ひます。



冬の風物詩

11月25日に東京ドイツ村へ行きました。当日は生憎の曇り空でしたが、雨が降らなかったのが幸いです。午後からの出発という変則的な内容でしたが、ほぼ全員が参加することができ、道中の市原SAでは、みなさん思い思いのおやつやグッズ、お土産を買われ楽しめました。ドイツ村へはイルミネーションの点灯の少し前に着き、点灯の瞬間を見ることができました。イルミネーションの鮮やかさ、スケールは圧巻の一言で、光の他に音楽も流れており、光と音楽のコラボレーションは中々の見応えでした。

冬の風物詩であるイルミネーション。普段はあまり目にする事が出来ない物で、利用者さんの記憶に残る楽しい外出となったなら嬉しいです。
グループ外出担当職員 藤原 俊



カウントダウン

11月27日の装飾クラブは、クリスマス会のポスター作りを行いました。

「線に沿って紙を切る」「色を塗る」「糊付けをする」「絵を描く」「折り紙を折る」など、色々な役割があり、皆さん出来ること・得意なことで協力してもらいました。出来上がった作品は、いびつな・・・良く言えば手作り感満載の作品となりました。ポスターには、クリスマス会まで「あと〇日」とカウントダウンも出来るようにして、食堂に貼りました。

ポスターを通して、近付いてくるクリスマスの雰囲気を感じてもらえたらと思います。

装飾クラブ担当 逸見 諭

